

葉泳会通信

葉泳会通信第5号
平成16年7月31日発行
千葉大学葉泳会
<http://www.youeikai.com>
mail@youeikai.com
会員数 359名

今年の総会は8月21日(土)に開催

今年は梅雨明けが早く、毎日がうだるような暑さです。夏はやっぱり水泳ですね。
平成16年度の葉泳会総会は、8月21日(土)に西千葉プールで開催される葉泳会戦にあわせて開催します。

時間は昨年と同じ行く、12時から葉泳会戦、16時から総会です。17時から、西千葉キャンパス内のカフェテリアで懇親会を行います。

葉泳会戦だけ出席、懇親会だけ出席という方も、総会への出席をお願いします。

< 葉泳会戦次第 >

○前半(12:00~)

- 200mメドレーリレー
- 200m個人メドレー
- 100m自由形
- 100m背泳ぎ
- 100mバタフライ
- 100m平泳ぎ

○後半(14:00~)

- 400m個人メドレー
- 50m自由形
- 50m背泳ぎ
- 50mバタフライ
- 50m平泳ぎ
- 200mフリーリレー

○水球

< 総会次第 >

総会の部(16:00~)

- 1 平成15年度報告(活動・会計)
- 2 平成16年度方針(活動・予算)
- 3 創部50周年記念総会(報告)
- 4 現役活動報告
- 5 その他

懇親会の部(17:00~)

- 1 現役紹介
- 2 OB紹介
- 3 現役表彰(スイマー・オブ・ザ・イヤー)



恒例の昨年度の総会参加者全員による記念写真です。53名?の会員が参加しました。



寄稿



五味川純平の「苔の一念」

葉泳会会長 佐藤 弘(69年卒)

以前より気になっていたことがあります。私の知るかぎりでは、ここ数十年の間、テレビ・雑誌等で五味川純平の消息が伝えられたことを寡聞にして知りません。五味川純平は存命なのか、亡くなってしまったのか？

五味川純平はいうまでもなく、昭和30年代それまでごく零細な出版社であったであろう三一書房をその著書「人間の条件」一巻で一躍、時の出版社として著名なものとして、本社ビルまで同社をして建設させてしまったと巷間いわれた人物です。

この本の興味深さについては、私が千葉大学の水泳部にいた頃、同級の御園君が「徹夜をしてまで読んでしまった」と言っていた記憶が自分にはありました。

では、「この本の主題は何か」ということになりませんが、これについては作者の五味川純平自身が「この本がヒットして数多くの批評を多方面より受けたが、ある人が『この本はまさに作者の苔の一念の産物だ』と言って批評をしたが、それはそれで自分はよいと思う」と述べていたことを私は読んだ記憶があります。

では批評した人間が「苔の一念」と言い、作者である五味川純平自身が「それはそれで良い」と言った「苔の一念」とはなんだったのか？この頃、その「苔の一念の思い」を遅まきながら解釈しました。

それは昭和20年8月13日に、自分の意思とはかかわりなく、若干の手榴弾と小銃弾数十発を持たされて、中国東北地方、旧満州の荒野で旧ソ連の圧倒的に優勢な戦車群と目の前で対峙させられた20歳台後半の青年の生への渴望と、そのような状況を創り出して現場に居合わせない者たちへの憤りの二つではないかと考えます。

五味川純平のことを、このごろ考えたのは、ここ数年来、日本と北朝鮮の間に生じている問題について、昭和初期より昭和20年までの中国・朝鮮とのかかわりを背景にその間、日本に生じた歴史的事実を克明に追いかけて

、自分の思いのたけをぶつけた著作を著した五味川純平だったら「なんと言うかな」と強い興味を持ったためです。五味川純平の著作に現れる文体の語り口は、若干でも共感をもって読む者にとって、歯切れがよく論旨が明快であります。

五味川純平の消息は不明であります。生への渴望とそれを切断した者たちへの断罪と憤りを著わした五味川純平の「苔の一念」から生まれた著作集は、これらの想いを抱いて亡くなった人たちへの鎮魂歌たりえたのかもしれない。

また今年も春が巡ってきました。千葉大学水泳部にも新たに新入生が入部し、生氣あふれる息吹が千葉大学の構内にもあふれかえることと思えます。現役の水泳部員ならびに葉泳会会員の皆様のご活躍を祈念いたします。

東部を終えて

主将 宇津井 香

先日、私たちが部の目標としている全国公への団体出場権がかかった東部地区国公立大学水泳大会が行われました。年々どの大学もレベルが上がっているなか、私たちも全国公への目標に向かい、チーム一丸となって闘いました。一人一人が自分のできることを精一杯やれば、必ず結果はついてくる。そう信じてこの二日間を過ごしました。そして結果、女子は総合3位に入賞することができ、全国公への団体出場権も獲得することができました。男子は残念ながら、総合8位で団体出場権を獲得することはできませんでしたが、部のために高得点を狙い皆頑張っていました。

ここで、葉泳会のみなさんにお伝えしたいことながら、団体出場権がとれたという結果もさることながら、そこまでのように頑張ったのかという過程についてです。

今年は例年に比べて練習を強化してきました。部として強くなるためには、全体で多くの練習をすることが必要だと感じたからです。昨年の暮れは、冬の泳ぎ込みとして、朝練と夜練の1日2回の練習を3日間、強化練として行いました。また、例年は3月の末に行っている春合宿も東部の日程を考え、一番効果的な時期を選び、ゴールデンウィークの4日間を使い泳ぎ込みました。この合宿にはまだ入部したばかりの一年生も多数参加してくれ、早い時期から東部に向けて一緒に頑張ることができ、とても充実したものにすることができました。

このように、東部に向けて、練習係やマネージャー、各選手が一丸となって今の千葉大水泳部を創り上げてきました。男子は惜しくも団体出場権を獲得できませんでしたが、今の千葉大水泳部は自信を持って葉泳会の方々に見えていただけるチームだと思っています。

ここまでのチームにすることができたのも、葉泳会の方々のご支援や、阿部先生や石川さん、下永田先生の日頃のご指導によるものだと思っています。多くの方々を支えられ、ここまで恵まれた環境で活動できることを心より感謝いたします。

これから、全国公、関甲信と大きな大会、また対抗戦など私たちのシーズンがやってきます。ここまで創り上げてきた千葉大水泳部をもう一度引き締め、最後まで気を抜かずによりシーズンを送ることができるようがんばっていきましょうと思います。



会員短信

(昨年度の葉泳会戦・総会参加確認はがきの返信欄から)

○日本電産トーソク(株)の社長を3月末で退任し、現在は取締役相談役として主として海外事業を見ています。(63卒 武野忠男)

来信の度に強くなった(レベルアップ)諸君を想い、青春の日々がなつかしく、元気をとりもどしています。(65卒 高柳弘泰)

今年4月から正式にちば興銀を離れ(転籍)、お菓子のオランダ家の社員ということになりました。(70卒 今田哲司)

お盆に規制するときには、30年ぶりに大学に行ってみようと思っています。今、パソコンを習っています。元気です。(71卒 中川(旧姓上野)良子)

50代半ば、現役を退きました。スローライフを楽しみながらの第2の人生を出発する年になりました。みなさんのご健勝、祈ります。(72年卒 寺沢賢一、寺沢(旧姓中野)邦子)

いつも、ご連絡ありがとうございます。教員の水泳大会にむけて、少し泳ごうと毎年のように思っています。(79卒 佐藤紀子)

毎年、活動報告(歴代報告)を見るのが楽しみです。今年もまだ残っていました。今、千葉市内の泉谷中で2年生を担当しています。毎日が体力勝負です。(79卒 石澤昌巳)

実家(千葉市中央区院内)に戻りました。(83卒 和田章良)

久しぶりに、ゆっくり活動報告を読ませていただきました。千葉大の水泳部のレベルも上がったものだと感心したり、みなさんの活躍をうれしく思ったりしています。私は、昨年40歳になったことをきっかけに、市民水泳大会出場してみました。50m泳ぐのがやっとでした。(84卒 金子志万子)

長男が小四となり、自営の塾に入るか検討する学年となってきました。(90卒 河角雅之)

昨年、大阪に転勤となり、また千葉へはごぶさたになっています。また、機会があれば遊びに行きます。(92卒 池田 明)

1月に次女が生まれました。子どもたちがまだ小さいこともあり、欠席させていただきます。(94卒 べセラ(旧姓土佐)延子)

8月に引っ越しました。自分は相変わらずマスターズでチョロチョロと泳いでいます。また、競技役員の方も続けています。先日の実業団都大会では、森田さんや金指くんが出場する中、「通告」させていただきました。(94卒 伊藤大介)

8/19にはお世話になります。大学生と練習できると生徒たちもやる気満々で意気込んでいます。よろしくお願いいたします。(95卒 金子真紀)

68kg(学生時代) 84kg(現在)。だいぶ太りました。(96卒 内澤康次郎)

早いもので卒業して4年、入社5年目となりました。ちょっとダラけてっているのですが、葉泳会戦で心新たに!?!したいと思ひマス (99卒 真鍋典子)

8/2をもって、星野から原田に名前が変わりました。24日は山形で小学生の県大会。そして26日からは、辰巳でJ.Oに選手の引率でかけずりまわっています。おかげ様で春夏連続でJ.O出場となりました。(00卒 原田 衛)

現在、山手線、横須賀線の車掌をやっています。見かけた方は、やさしく手を振ってください。(01卒 谷津和宏)

今年は5年生27名と共に毎日を過ごしています。当日はなつかしい顔に出会えるのを楽しみにしています。(02卒 向井田崇央)

TDSの川に飛び込む衝動といつも戦っている真夏日です!! 皆の勇姿を是非々々見たいのですが (03卒 田中景子)



役員会だより

今年も役員会は6月3日、27日の2回開かれました。役員会の議題は、総会の開催が中心ですが、継続している課題に会費の納入促進と水泳部創部50周年事業があります。以下に詳しくお伝えします。

1 現役支援金の確保について

現役への支援も毎年の検討事項です。毎年多くの方に会費を納入して頂いていますが、収入は横ばい傾向にあります(平成12年:60万円、13年:51万円、14年:50万円、15年度52万円)。現役の活動にもエントリー費や遠征費など、多額の経費がかかります。会費納入に、是非ともご協力をお願いします。なお、今年も、活動報告を有料にしました。会費2000円+活動報告1000円ですので、3000円以上の納入をお願いします。(納入先は最終ページ 参照)

2 水泳部創部50周年記念について

千葉大学水泳部の創部50周年記念総会を2006年に行います。残すところ2年です。決まっているのは、総会を11月に行うこと、写真と年表で水泳部の歴史を辿る記念誌を作成することです。記念誌の写真は会員の皆さんからお借りしたいと考えています。なにぶんにも生活の糧を稼ぎながらの作業となるため、構想は浮かんでも、なかなか作業にとりかかれません。

役員会では、何人ぐらい会員が集まるだろうか、という話に及びましたが、会員数359人中150人ぐらい集まるのではないかと、という楽観派もいれば、いや100人も集まらないのでは、という現実派もいました。皆さんは、何人ぐらいと予想しますか? ちなみに、毎年の葉泳会戦・総会は70人ぐらいの人が参加しています。

葉泳会のホームページを立ち上げました。

長年の懸案であった葉泳会のホームページを立ち上げました。ドメイン名は youeikai.com です。

コンテンツは、会長あいさつ、お知らせ、会費納入案内、葉泳会通信バックナンバー、会則などです。現役のページもあり、行事予定や歴代記録を掲載しています。

一度アクセスしてみてください。

URL <http://www.youeikai.com>

ドメインの取得ににともない、主要な役員にメールアドレスを設定しました。(下記参照)

下記のメールアドレスに送信すると、自動的に各人のプライベートアドレスにメールが転送されます。



創部50周年記念誌に掲載する写真を集めています。

50周年記念誌は、創部から現在までの歩みを、時代を象徴する水泳部や社会のトピックスをからませ、写真を中心に構成することを予定しています。

試合風景、練習風景、レクリエーション風景など、集合写真を中心に水泳部らしい写真がありましたら、事務局までお送りください。

集めた写真は、長く残せるようにCD-Rに納め、スライドショー形式で楽しめるようにしたいと考えています。コンピュータソフトに詳しい方がおられましたら、是非力を貸してください。

会費納入のお願い

会費は葉泳会の活動になくてはならないものです。現役の援助のためにも、会費の納入をお願いします。また、現役から送られてきた活動報告を今年も有償とします。会費の納入は以下に従ってお願いいたします。

- 1 納入金
会費 1口2000円(何口でも可)
活動報告代 1000円
合計 3000円

2 納入先

(1) 銀行振込の場合

受取人 千葉大学葉泳会
千葉興業銀行 千葉支店
普通預金 0187411

(2) 郵送の場合

品川史彦 宛

転居時の連絡

転居の際は、事務局までご連絡下さい。

Eメールアドレスをお持ちの場合は事務局までメールでご連絡ください。

住所不明者

以下の方々の住所が不明です。

ご存じの方は事務局までお知らせください。

卒年	会員(敬称略)
1964年	佐藤、安原
1965年	笠原、水野
1966年	田中
1969年	川辺
1976年	岡本、田中
1979年	目沢
1984年	石山
1085年	伊関、白井
1989年	沼田
1998年	西川

葉泳会連絡先

会長 佐藤 弘
kaichou@youeikai.com
理事長 森田恒世
rijichou@youeikai.com
事務局 鈴木正雄
jimukyoku@youeikai.com
mail@youeikai.com
会計 品川史彦
kaikai@youeikai.com
水泳部 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33
千葉大学体育会水泳部
マネージャー suieibu@youeikai.com

～編集後記～

葉泳会通信も第5号目の発行となりました。 毎号ほとんど同じ構成で、新鮮味に欠けるところもありますが、重要な情報を精選していますので、ご容赦ください。今年の正月休みに、IBMのホームページ作成ソフト(ホームページビルダー)を用いて、試しに葉泳会のホームページを立ち上げました。ホームページを作成してみて興味深かったのが、歴代記録の編集です。水泳部の隆盛期が、記録の年でわかります。是非一度ホームページをのぞいてみてください。葉泳会からの連絡もインターネットを活用する時代に入ってきました。Eメールアドレスを持っている方はぜひ事務局までご連絡ください。では皆さん、8月21日の葉泳会総会でお会いしましょう。オーアツイ!

